

2018.1.15

文学部横断型人文学プログラム履修者および
2018 年度春学期のプロジェクト・ゼミに関心を持つ学生へ

プログラム運営委員会

<文学部横断型人文学プログラム>

2018 年度春学期「プロジェクト・ゼミ」 履修者の追加募集（お知らせ）

2018 年度春学期のプロジェクト・ゼミの履修者選考で、まだ空席がありますので、今回、2018 年度春学期の2つのプロジェクト・ゼミ（芸術文化論コースとジャパノロジー・コース）の履修者を追加募集いたします。

来年度から、3 年次秋学期からではなく、3 年次春学期からプロジェクト・ゼミをとれるように変更しました。したがって来年度 3 年次になる現在 2 年次の学生も応募できます。また、当プログラム開始以前に入学した学生や、やむを得ない事情でゼミ参加の必要条件（共通基礎科目 4 単位履修）が十分に満たせなかった学生にも、応募するチャンスがあります。以下の要領で必要書類をそろえ、締切日までに提出してください。

プログラム運営委員会で選考の上、2 月中旬頃に（やむを得ぬ事情で申請が遅れた人は遅くとも 4 月の履修登録時まで）LOYOLA 上で本人に通知します。この選考に通った学生だけが履修を許可されます。

選考に通った学生は、4 月の履修登録期間中（遅くとも登録修正期間まで）に、各自 LOYOLA 上の履修登録を忘れないでください。

また、この選考に通ったけれども、来年度の時間割が発表された段階で、プロジェクト・ゼミの履修ができなくなった人は、その旨を履修相談室（下記参照）に連絡してください。

【応募資格】

- ① 現在 2 年次以上であること。
- ② GPA（全履修科目の成績の平均）が 2.5 以上であること。
- ③ 以下 a～c のいずれかを満たす者。
 - a) 2 年次末までに当プログラムの「共通基礎科目」（4 単位）を習得（予定）の者。
 - b) やむを得ぬ事情（留学・抽選落ち・必修科目等とのバッティング等々）で、共通基礎科目を十分に取れなかったが、テーマへの基礎知識が十分にある者。
 - c) 当プログラムの修了予定はないが、ゼミのテーマに関する知識が豊富で、本人のゼミ受講が他の受講者に有益である、とゼミ担当教員や運営委員会が認める者。

【提出書類】

- ① プロジェクト・ゼミ申請書（様式1）（全員提出）
（応募資格③のbおよびcの該当者は「特記事項」欄に明記する。別紙添付にしてもよい。）
- ② 成績表（全員提出）
- ③ 自由選択科目認定申請書（様式2）とその科目のシラバス（希望する科目がある場合）

【締切と提出先】

2018年2月1日（木）17:00（注）

文学部長室（7号館10階 7-1011）

（注）やむを得ぬ事情で締切に間に合わなかった人は、空きがあれば対応しますので、書類を揃えて大至急文学部長室に提出して下さい。結果はすぐにお知らせします。

【2018年春学期プロジェクト・ゼミの概要】

・芸術文化論コース

担当者：飯野友幸（英文学科教員）

曜日時限：金曜2限

概要：アメリカ・ポピュラー音楽の研究

このプロジェクトゼミは、個々の受講者がアメリカのポピュラー音楽のなかで、興味あるジャンル、アーティスト、問題系から任意にテーマを選び、人文学の分野で現在行われている文化研究的な視点（たとえば人種、セクシュアリティ、階級など）を導入しながらテーマを決めて、分析・研究に入り、最終的には論文に仕上げることを目的とする。

実際のゼミの進め方としては、受講者の数とテーマにもよるが、基本的には学期前半でまず文献研究、外部講師によるレクチャー、などを通して勉強会を数回行い、場合によってはフィールドワークなどもまじえ、それを通して個々の研究を進める。そして、学期後半では受講者に発表してもらい、全体でのディスカッションによってそれを揉み、最終的に論文をまとめる、という流れにする予定でいる。

・ジャパノロジー・コース

担当者：北條勝貴（史学科教員）

曜日時限：月曜5限

概要：本ゼミは、歴史学・民俗学・地理学などで行うフィールドワークの方法を用いながら、列島文化の多様性を再発見することを目指す。また受講者は、すでに本コースの個別選択科目「フィールドワーク入門」を履修していることが望ましい。

授業スケジュールとしては、10回分を学期中での講義に当て、残りの4回分と15回目の課題を、夏期休暇中の実習に当てる。

具体的には、まず学期の前半で、個別の事例に基づき方法論の復習を行い、フィールドワークの実践における倫理上の諸問題についても意見交換してゆく。また、大

学周辺での史跡散策も採り入れつつ、種々の民俗映像を、調査の仕方や記録・撮影の仕方に注意し分析してゆくことも試みる。

学期の後半では、そうした作業を通じて、担当教員と相談し、各自の研究計画を練り上げてゆく。受講者それぞれが、研究計画に関する個別報告を行い、受講者間での質疑応答を通じて、より精度の高い計画の作成を目指す。夏期休暇前半には、東北もしくは北陸にて、合宿の形で実習を行う。

最終課題は、研究計画に基づく受講生各自のフィールドワークの実施、同レポートの作成・提出とする（9月上旬〆切）。出席は前提であり、研究発表、課題、意見交換への貢献度などから総合的に評価する。

【注意】

1. プロジェクト・ゼミで履修した単位は、卒業要件に入りません。
2. 現在1年次生は応募資格がありません。自分の履修するコースのゼミを申請してください。
3. 選考に通ったけれども履修が不可能になった人は、すぐに「履修相談窓口」（下記6参照）に知らせてください。
4. 応募資格の③でbとcの該当者は、その旨をプロジェクト・ゼミ申請書の特記事項欄に書くか、別紙を添付して説明してください。とくにcの該当者でこのコースを修了する予定のない人は、申請書の「横断プログラム科目履修状況について」の欄を埋める必要はありませんが、それに匹敵するような学習や経験を、「特記事項」欄ないし別紙に書いてください。また、ゼミ担当教員の了解をすでに得ている人はその旨も書いておいてください。
5. 横断プログラムの詳細は、『(文学部横断型人文学プログラム) 履修ガイドブック 2017年』（文学部 HP 上にあり）や『(上智大学) 履修要覧 2017年度<学科科目編>』の26～30ページを参照してください（今回、3年次春学期からゼミが取れるようになった点を変更しています）。不明点は、「履修相談窓口」（7号館8階820号室、sophia.fhu.pd@gmail.com）にアポイントをとり相談してください。履修相談窓口と連絡がつかない場合は、プログラム運営委員（井上：メール shigeki-i@sophia.ac.jp）に相談してください。

以 上